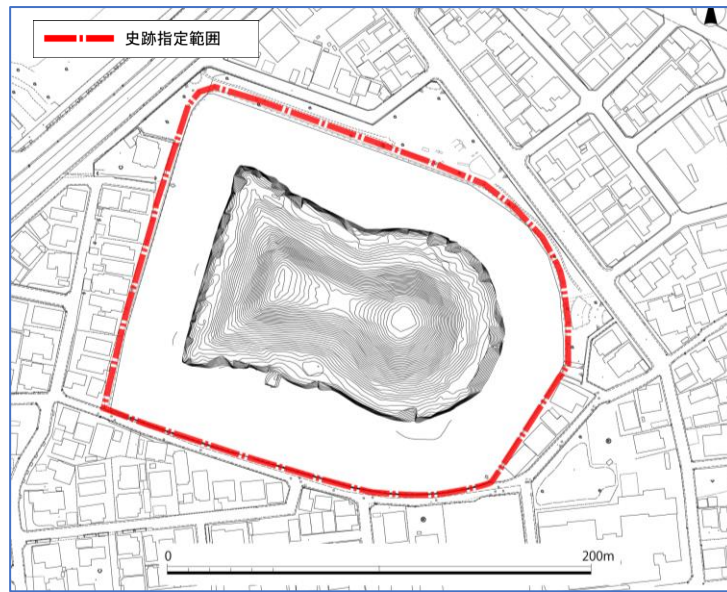


#### (4) 古墳カルテ

##### ①いたすけ古墳 指定告示内容

種 別	史跡	史跡	統合・名称変更
名 称	いたすけ古墳	百舌鳥古墳群	いたすけ古墳
所 在 地	大阪府堺市百舌鳥高田町（現在：北区百舌鳥本町3丁）		
地 域	393番の1, 394番（現在：340, 339 - 1, 339 - 2, 338）		
指定年月日	昭和31年5月15日	平成26年3月18日	
告 示 番 号	文化財保護委員会告示第20号 （官報第8811号）	文部科学省告示第34号 （官報号外第55号）	

管 理 団 体	堺市（昭和31年8月9日）
指 定 説 明	<p>「昭和31年指定時」</p> <p>字板鶴と称せられる地に有する。前方部を西に面して営まれた前方後円墳で主軸の長さ約140mを有する宏大な墳丘をなしている。封土は三段に築成され、くびれ部の南側には造り出しが残存し、周囲に堀がめぐらされている。仁徳天皇陵、履中天皇陵を中心とする百舌鳥古墳群の中においても主要な地位を占めるものであり、保存の状態もきわめて良好であり、わが国の古墳文化を考える上に価値深いものがある。</p> <p>「昭和37年『大阪府の文化財』」</p> <p>国鉄阪和線の中にして西の履中天皇陵と相対し、百舌鳥駅と上野芝駅との中間、線路東側に位置している。この地は洪積層の丘阜性台地の一部で、古典に河内石津原また百舌鳥耳原としてみえるところである。</p> <p>古墳は主軸を東西にして、西面して営まれ、くびれ部には造り出しがある。東西の長さ約一〇〇米、幅約五〇米、高一〇米強を測る。その墳丘は三段築成になるもので、それが水を湛えた外濠で取囲まれているが、この濠は所在地たる高田町部落の灌漑用水地となっている。現在における墳丘の林相は数種の松とくさぎなどの雑木のほかに竹藪となっている。古老の話ではかつては老松が繁茂していたが、五位鷲のために枯死したので、所有者が竹を植えて今日のように茂ってきたものであるという。墳丘には円筒埴輪の圍繞がみられ、形象埴輪の樹立もあって、その後円部頂上から兜形埴輪の発見せられたことがあった。</p> <p>世界第一の大墳墓たる仁徳天皇陵を含む百舌鳥古墳群を構成する主要な一墳であり、履中天皇陵の前方にあった大塚山古墳をはじめ附近にあった多くの古墳が取壊された今日、民有として、最大の古墳たる点において、またこの古墳を含む百舌鳥古墳群が古代史の最盛期を、文献を外にして如実に物語っているものとして、古市古墳群と相並んで日本における随一のものである。</p> <p>「平成26年『月刊文化財』第605号」</p> <p>いたすけ古墳は墳長140mに達する前方後円墳であり、昭和31年5月に史跡指定された。</p>
指定面積	29,977.08 m <sup>2</sup>



航空写真（平成 19 年撮影）



航空写真（令和 3 年撮影）



地番参考図

**古墳名 いたすけ古墳**

百舌鳥古墳群のほぼ中央にある前方部を西に向けた前方後円墳で、古墳の周囲には盾形の周濠が巡り、濠の南側には堤が築かれている。周囲には善右エ門山古墳の他に、かつて播磨塚古墳・吾呂茂塚古墳が存在していた。

**現状と課題**

濠の周囲には安全防犯対策上、護岸・フェンスと門扉を設けて管理している。周濠は、水生植物の繁茂がみられる。この周濠の水については、防火用水として機能しており、水位の管理・調整は世界遺産課が行っている。前方部西側は外堤に沿って民家が並んでいる。墳丘上の樹木は昭和40年代に実施した大規模な刈込と近年の竹林・樹木伐採などの環境整備により、墳形が良好に視認できる。西方JR阪和線、大仙公園への眺望も良い。北隣のいたすけ公園に史跡標柱・説明板を設置している。

墳丘上では、後円部東側で拡大していた竹林の除去に取り組んでいる。墳丘裾は侵食が著しい。周濠は水の流入がなく滞留したままであり、堺市外来種アラートリストのコイやミシシippアカミミガメなどが生息するなど水質の悪化が近年顕著となってきた。水質改善の一環として、給水用井戸をいたすけ公園に設置し、濠水の循環を促している。

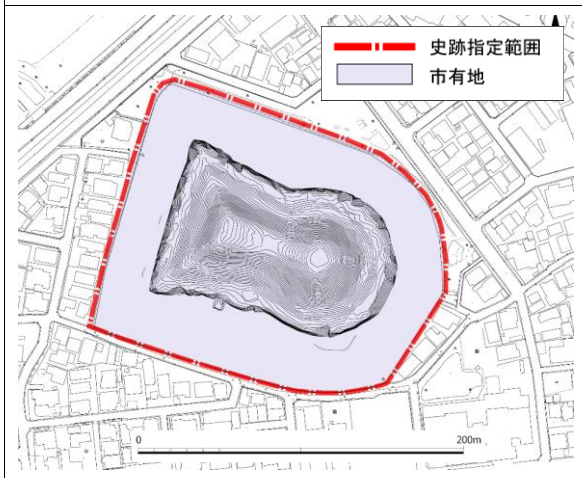
濠内には昭和30年(1955)頃に造成のために架けられた橋の残骸が残っている。この橋は、いたすけ古墳の当時の危機的状態を象徴し、市民などの保存運動により当古墳が守られたことを記念する存在である。



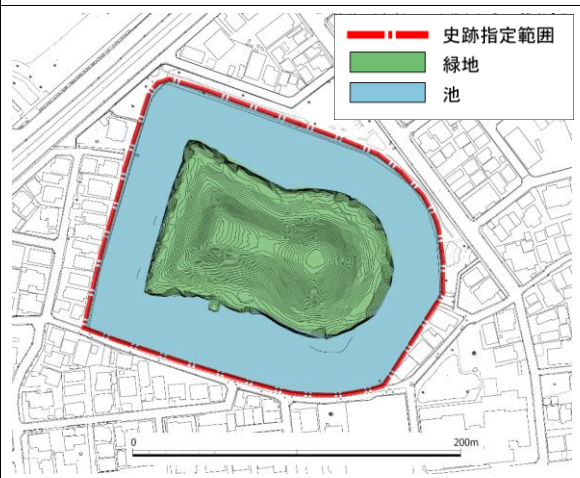
現状・課題



都市計画図



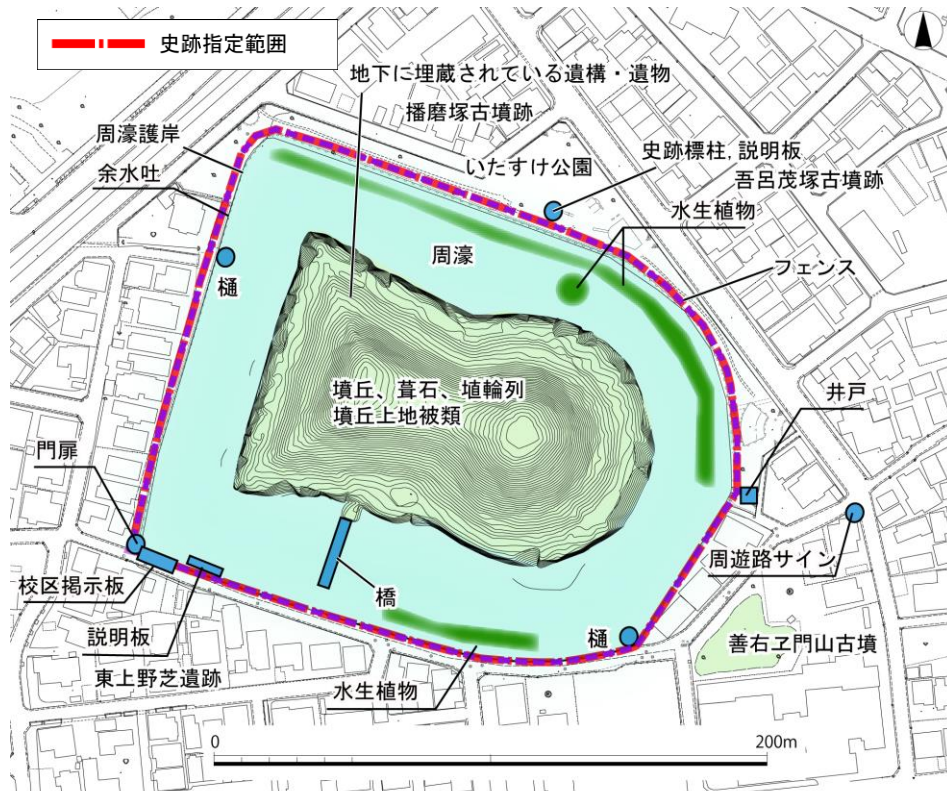
土地所有区分



土地利用状況図

①いたすけ古墳 諸要素一覧

史跡の構成要素 (指定地内)	指定地周辺の構成要素 (指定地外)
<p>①史跡の本質的価値を構成する諸要素</p> <p>墳丘、周濠、 埋葬施設、葺石、埴輪列、 地下に埋蔵されている遺構・遺物</p>	<p>①史跡の本質的価値を構成する要素と同等の諸要素</p> <p>外堤</p>
<p>②史跡の本質的価値を構成する要素以外の諸要素</p> <p>ア) 歴史的環境を構成する諸要素</p> <p>イ) 史跡に密接に関わる諸要素</p> <p>㊦本質的価値を保存管理するために必要な諸要素 史跡標柱、フェンス、門扉、周濠護岸、樋 (2 か所)、給水施設、余水吐</p> <p>㊧景観や環境形成に寄与しているもの 墳丘上地被類・樹木、水生植物</p> <p>㊨情報発信など活用に必要なもの</p> <p>ウ) 史跡とは関わらない要素</p> <p>水生植物、危険木、外来生物 (※) 橋、校区揭示板</p>	<p>②史跡の本質的価値を構成する要素と同等の要素以外の諸要素</p> <p>ア) 史跡に密接に関わる諸要素</p> <p>㊦一体的に歴史環境を構成 善右エ門山古墳、吾呂茂塚古墳跡、播磨塚古墳跡、東上野芝遺跡</p> <p>㊧その他の歴史文化遺産</p> <p>㊨本質的価値を保存管理するために必要</p> <p>㊩景観など自然環境を構成 いたすけ公園</p> <p>㊪情報発信や活用に必要 周遊路サイン、説明板 (2 か所)</p> <p>イ) その他の諸要素</p>



①いたすけ古墳 現状変更の履歴

年度	内容	備考（詳細）
平成 27 年	濠 水質浄化活動	
平成 27 年	フェンス支柱交換工事	
平成 28 年	濠 水質浄化活動	
平成 28 年	フェンス支柱交換工事	
平成 29 年	フェンス支柱交換工事	
平成 29 年	環境整備	墳丘上傾斜竹・樹木伐採
平成 30 年	環境整備	墳丘上樹木・竹間伐
平成 30 年	フェンス改修	
平成 30 年	説明板撤去	新設に伴い既存説明板の撤去
令和元年	環境整備	墳丘上竹間伐
令和 2 年	環境整備	墳丘上竹・樹木伐採
令和 3 年	給水管設置	史跡外に設置した井戸から径 2.5 cm 給水管を地上に配管し濠肩へ給水する
令和 3 年	公園改修	フェンス 2 か所の更新・雨水給排水施設の設置・整地及び砕石舗装工事
令和 3 年	木竹伐採	墳丘上樹木伐採

①いたすけ古墳 観察・点検表

観察者 \_\_\_\_\_ 観察日時 \_\_\_\_\_ 年 月 日 ( ) \_\_\_\_\_

古墳名	説明板	巡回内容					
いたすけ古墳	有 2	<input type="checkbox"/>	墳丘の観察	<input type="checkbox"/>	説明板清掃	<input type="checkbox"/>	濠のゴミ回収
	点検・観察 ポイント						その他
	<input type="checkbox"/> 墳丘裾部分の崩落状況 <input type="checkbox"/> 周濠水深・水質 <input type="checkbox"/> フェンスの破損		<input type="checkbox"/> 樹木の繁茂状況 <input type="checkbox"/> 蓮・葦の生育範囲				

諸要素		点検・観察 箇所	指摘事項	
史跡指定地内	①本質的価値を構成する諸要素	墳丘（前方後円墳）		
		周濠		
		埋葬施設・埴輪列・葺石		
		地下に埋蔵されている遺構・遺物		
	②本質的価値を構成する要素以外の諸要素	史跡と密接に関わる諸要素	史跡標柱、説明板（2）	
			フェンス、門扉	
			給水施設	
			周濠護岸	
			樋(2)	
			墳丘上地被類	
		史跡とは関わらない要素	樹木	
			水生植物	
			外堤樹木	
史跡指定地外	①本質的価値と同等の諸要素	橋		
		校区掲示板		
	②本質的価値と同等の要素以外の諸要素	外堤		
		密接に関わる諸要素	いたすけ公園	
		周遊路サイン		
その他				